

令和 7 年度第 1 回地域連携推進会議 議事録

1. 開催状況

事業所番号	4610100903									
事業所名	障害者支援施設 吉野学園									
開催日時	令和	7	年	10	月	9	日	木曜日	12:50	～ 14:00
開催場所	吉野学園 2 階会議室									
構成員 出欠状況	構成員種別	出席		欠席		備考（欠席理由等）				
	利用者	1	名	0	名					
	利用者家族	1	名	0	名					
	地域の関係者	1	名	0	名	民生委員				
	福祉に知見のある人	1	名	0	名	社会福祉法人 元施設長				
	経営に知見のある人	1	名	0	名	社会福祉法人 理事長				
	事業所等職員	4	名	0	名	施設長、支援課長、サービス管理責任者、総務企画課課長				

2. 議題内容

1	会議員構成紹介・園内視察
2	開会・DVD上映
3	吉野学園の概要説明
4	吉野学園の支援・取り組みについて
5	その他・業務継続計画（BCP）説明など
6	意見交換

3. 構成員からの質問、要望、感想等

【質疑応答】

Q 利用料について 利用料はいくらぐらいかかるのか

A 現在入所の方は障害年金を受給されておりその年金内で支払える利用料となっている。

Q 最近の米をはじめとする食料の値段高騰について施設運営が大変ではないか。

A 従来の米業者から今までの値段では米を納められないと話があり、給食業者に相談し違うところから米を納入してもらっている。価格があがったがすぐに利用料を上げられるものではないので現在は施設が負担している状況である。

Q 園長の説明にあった「利用者本位の支援」は私も同じ思いである。人手不足などあり、職員の確保が大変だと思うが、先ほどの園内見学の時に動き回る利用者さんが何名かいたり、壁が壊されたりしていて、対応する職員の確保が大変ではないか。

A 今年度はありがたいことに職員の退職がなく現在足りている状況である。動き回することは本人が何か気になることがあるかもしれないので、本人の気持ちに気づいたりできることをしている。また職員の支援での困りごと、悩んでいることを集め解決していくことも今年度重点的に取り組んでいる。

Q 外出行事など説明にあったがもっと頻繁に外出したい、例えばお墓参りに行きたい・買い物に行きたいなど要望はないか。出たい方はいないか。

A できるだけ本人の気持ちを汲み取る意思決定支援のもと本人の希望をもとに外出計画をつくり機会をつくっている。

Q 国もグループホームへの移行をうたっているが、現在施設入所されている利用者の中にはグループホームへ入りたい人はいないのか。

A 重度の方が多く、受け入れ可能なグループホームが少ないこともあり、現在グループホームへの移行希望者はいない。利用者・保護者へのGH移行希望は、今後調査していきたいと思う。

Q 利用者代表●●さんに聞きます。職員はやさしいですか？

A (●●氏) やさしいです。

(担当者から補足) 担当との週に1回のティータイムをいつも楽しみにされています。

Q 虐待の線引きは難しくないか。

A 確かに微妙なラインのところは難しい。職員が毎月支援を振り返ることをしており、自分の支援を振り返る中で少しでも不適切ではないかと感じたことは、まず報告するように呼び掛けている。

厚生労働省から出されているガイドラインに沿って、法人として判断している。

Q ベッドに括り付ける身体拘束はないか。

A 現在そのような形での身体拘束はない。毎月の振り返りシートを活用し、虐待がなかったかの確認をしている。事案をみんなで検討することが大切だと思う。

Q 最後に（利用者代表）●●さん、吉野学園は楽しいですか？

A (●●氏) 楽しいです。

【感想等】

本日の見学やこの会議で説明を聞き、法人の理念にまず家族として喜ばしいと感じた。現在自分はグループホームで勤務しており区分2・3の方の支援をしているが、吉野学園のように区分5・6の方たちの支援は大変だろうと改めて思う。また、以前に勤務先のデイケアで70代・80代の利用者にちゃんづけをしていた職員にちゃんづけをやめるように言ったところ、もう癖になっていて今更できないと言ってちゃんづけをやめない職員がいた。吉野学園でも、ある時から私の子の呼び方をさんづけに変えたことを覚えており、ありがたいなと思った。数年前の虐待事案の時も法人事務局に家族の代表を集め報告をいただき、隠し事をしない法人だと思った。青鳥会に対して安心してこのまま預けたいと強く思った。

令和 7 年度第 1 回地域連携推進会議 議事録

1. 開催状況

事業所番号	4620103236			
事業所名	共同生活援助 GEN（ゲン）			
開催日時	令和 7 年 10 月 9 日 木曜日	15:00	～	16:00
開催場所	GEN食堂			
構成員 出欠状況	構成員種別	出席	欠席	備考（欠席理由等）
	利用者	1 名	0 名	
	利用者家族	1 名	0 名	
	地域の関係者	1 名	0 名	地域小学校 校長
	福祉に知見のある人	1 名	0 名	社会福祉法人 元施設長
	経営に知見のある人	1 名	0 名	社会福祉法人 理事長
	事業所等職員	4 名	0 名	施設長、支援課長、サービス管理責任者、総務企画課課長

2. 議題内容

1	会議構成員紹介
2	所内視察
3	吉野学園・GENの概要説明
4	GENの支援・取り組みについて
5	その他・業務継続計画（BCP）説明など
6	意見交換

3. 構成員からの質問、要望、感想等

【質疑応答】

Q どこか地域のお店で利用しているところがありますか？

A 一番利用が多いのはマクドナルド。利用者の希望を聞くと「マクドナルド」と答えられる方が一番多く、その他タイヨーやニシムタ等買い物に行くことも多い。また吉野学園は出張の散髪屋さんを利用しているが、GENの利用者は地域のお店で散髪をしている。

Q 職員の配置、特に夜間の配置は？

A 夜間専任の場合21：30～翌6：30が勤務となっている。その他生活支援員の場合夜勤が15：00から翌10：00となっている。

Q 夜間の時間帯1人では入浴など大変ではないか？

A 入浴時間帯は、夜勤者のほか早出と遅出がいて、2人の体制となっている。

Q (利用者)●●さんに質問、GENは楽しいですか？

A (●●氏) うん！（と笑顔で手を挙げる）

【感想等】

本日利用者代表の●●さんは自分が30年ほど前赴任していた小学校で一緒だったことを覚えていて、ご縁を感じる。今回の会議開催によりグループホームのことを知ることができ意義を感じた。何か小学校としてできることがないかも考えてみたい。

私の子どもはGEN設立の平成25年から入っており、今年で12年がたった。自宅で生活していたころは粗暴な行動も多く、日常生活が成り立たない状況だった。だからこのような施設があることが大変ありがたい。今後も入所を続けたい。

令和 7 年度第 1 回地域連携推進会議 議事録

1. 開催状況

事業所番号	4610100895									
事業所名	障害者支援施設 愛光園									
開催日時	令和	7	年	10	月	2	日	木曜日	13:00	～ 14:30
開催場所	1 階会議室									
構成員 出欠状況	構成員種別	出席		欠席		備考（欠席理由等）				
	利用者	1	名	0	名					
	利用者家族	1	名	0	名					
	地域の関係者	1	名	0	名	民生委員				
	福祉に知見のある人	1	名	0	名	社会福祉法人 元施設長				
	経営に知見のある人	1	名	0	名	社会福祉法人 理事長				
	事業所等職員	5	名	0	名	施設長、副施設長、支援課長、サービス管理責任者、総務企画課主任				

2. 議題内容

1	愛光園園長開会挨拶
2	会議構成員紹介並びに挨拶
3	愛光園紹介、愛光園の取り組み紹介
4	業務継続計画（BCP）説明
5	意見交換
6	閉会の挨拶

3. 構成員からの質問、要望、感想等

【質疑応答】

- Q こういった災害に供える対応が大切だということがわかる。有事の職員数の確保はどうか。
- A 災害時には職員に前泊してもらうなどの対応を行っている。その際は災害時前泊手当を支給している。
- Q 園内巡回して季節感のある壁面装飾などをしており、良かった。一泊旅行の企画もされているとのことだが、宿泊施設との連携協力についてや、買い物などの外出については、いつ行けるのか、全員が行けるのかもお聞きしたい。
- A 一泊旅行については、年間大体10名を3名程度のグループに分けて実施している。今年は薩摩川内市にある「湯ったり館」に行く予定。食事の刻みの対応ができないとこのことで、携帯用のフードプロセッサを購入し利用する予定。外出については年間100件程度で実施している。
- Q 施設内が綺麗だと感じた。職員の配置状況（人材確保）においてはどうか。私の管理する施設でも施設職員の枯渇からサービスの利用制限が余儀なくなっている。どのような対策をされているか。
- A 勤務の組み換えを実施したり、通常の夜勤体制（3名）を2名で編成したりして補填している。新たに泡シャワーの導入を試みて、作業の軽減化、省力化により1名が捻出できないか模索している状況。
過去の新型コロナウイルス蔓延時には法人内事業所間で応援をもらって体制を整えた。本年度は、特定技能の外国人を採用した。業務の習熟度合も順調なので今後独り立ちして活躍してもらえることを期待している。
- Q 愛光園から出て生活してみたいという方はいないのか。地域移行ではないが、他施設に移行したいというニーズはないか。
- A 今年度1名の方が他事業所に移行したという実績はある。
- Q J O B フェアの件、参加方法などが知りたい。
- A 福祉の求人は大事だと思っている。福祉の仕事に対する理解を深めるために定期的開催している。毎回の沢山の参加はないが、継続しておこなっていきたい。
応募方法については、Q R コードやW E Bでの申し込みや電話でも個別に行っているのでは是非問い合わせてもらいたい。

【感想等】

子がお世話になっている。愛光園に来てからは一人部屋を充てられて日々が充実しているせいか、笑顔が、良くみられるようになった。肢体不自由ではないのですが、尿路感染のため前の施設では看られないとのことでした。尿路のカテーテルの交換も定期的にしなければならない。また最近、尿路感染で入院しなければならないとこのことで家族も動けないため、かかりつけの医師による経過観察を行いました。本日、子を見た時、本当に元気そうで歩きかたも良くなってきている。

前の施設と比べるわけではないが、看護師の数が多いため大変助かっている。ここ最近特に落ち着いて生活ができていると感じる。

令和 7 年度第 1 回地域連携推進会議 議事録

1. 開催状況

事業所番号	4620102857			
事業所名	共同生活援助 よつばのクローバー			
開催日時	令和 7 年 10 月 2 日 木曜日	15:30	～	16:30
開催場所	地域公民館			
構成員 出欠状況	構成員種別	出席	欠席	備考（欠席理由等）
	利用者	1 名	0 名	
	利用者家族	1 名	0 名	
	地域の関係者	0 名	1 名	地域小学校校長(所用のため欠席)
	福祉に知見のある人	1 名	0 名	社会福祉法人 元施設長
	経営に知見のある人	1 名	0 名	社会福祉法人 理事長
	事業所等職員	5 名	0 名	施設長、副施設長、支援課長、サービス管理責任者、総務企画課主任

2. 議題内容

1	愛光園園長開会挨拶
2	会議構成員紹介並びに挨拶
3	愛光園紹介、愛光園の取り組み紹介
4	業務継続計画（BCP）説明
5	意見交換
6	閉会の挨拶

3. 構成員からの質問、要望、感想等

【質疑応答】

Q 月に一度の行事があると聞いたが、スライドにあった両棒餅を食べた活動はその行事の一環か。付添職員の人数は何人か。

A 両棒餅を食べに行ったのは、行事ではなく3時のおやつとして行きました。付添職員は1名で行っています。

Q 洗濯物を天日に干すのが私も好きでよいなと思いました。買い物の回数を増やしてほしいという要望はないか。また、金銭管理についてはどのように管理しているか。

A 今のところ(買い物の)回数を増やしてほしいという要望はないが、買い物については、まとめて実施することもある。日中の活動は(生活介護の)NOAで生活介護のサービスを提供している。金銭管理は、自分でやりたいという方には、お小遣い程度の金額で管理をお願いしている。

Q 洗濯物は1人ずつ行っているのか？

A 1人ずつ行っている。

【感想等】

洗濯物が難しいです。干したり取り込んだりはしている。グループホームのみんなとは仲が良いと思います。

冒頭でも話をしたが自宅からグループホームに帰園した際に、「ただいま」という姿を見て複雑な心境です。

生活介護のNOAができたことによってグループホームの活動が充実したものになっていると思います。

令和 7 年度第 1 回地域連携推進会議 議事録

1. 開催状況

事業所番号	4610100911			
事業所名	障害者支援施設 吉田愛青園			
開催日時	令和 7 年 10 月 16 日 木曜日	13:00	～	14:30
開催場所	吉田愛青園多目的棟会議室			
構成員 出欠状況	構成員種別	出席	欠席	備考（欠席理由等）
	利用者	2 名	0 名	
	利用者家族	1 名	0 名	
	地域の関係者	1 名	0 名	民生委員
	福祉に知見のある人	1 名	0 名	社会福祉法人 元施設長
	経営に知見のある人	1 名	0 名	社会福祉法人 理事長
	事業所等職員	5 名	0 名	施設長、副施設長、支援課長、サービス管理責任者、総務企画課課長

2. 議題内容

1	吉田愛青園副園長開会挨拶
2	自己紹介
3	管理者あいさつ
4	映像視聴
5	サービス内容説明
6	利用者の人権擁護について
7	BCPについて
8	地域の状況について
9	質疑応答

3. 構成員からの質問、要望、感想等

【質疑応答】

Q 地域の買い物利用で多いところはどこか。

A コンビニエンスストア・タイヨー・Aコープなど。
何を食べたい・どこに行きたいという意味決定を交えて行っている。

Q グループホームへの移行希望はあるか。

A 今のところ、杜の風への移行希望のみである。措置時代からの継続入所の方が多いので、吉田愛青園の入所を求める利用者が多い。

Q 意思決定ができない利用者にはどのような対応をしているか？

A ご家族の意見を交えながら実施している。

Q 利用者への質問「ご飯はおいしいですか」「困ったことはありませんか」「職員はやさしいですか？」

A 利用者 2名とも「はい」という返事をされていた。

【感想等】

災害時の対応（大雨の土砂災害等）について、BCPの計画の説明を聞いて安心した。

令和 7 年度第 1 回地域連携推進会議 議事録

1. 開催状況

事業所番号	4620105819			
事業所名	共同生活援助 杜の風			
開催日時	令和 7 年 10 月 16 日 木曜日	14:30	～	16:00
開催場所	吉田愛青園多目的棟会議室			
構成員 出欠状況	構成員種別	出席	欠席	備考（欠席理由等）
	利用者	1 名	0 名	
	利用者家族	1 名	0 名	
	地域の関係者	1 名	0 名	民生委員
	福祉に知見のある人	1 名	0 名	社会福祉法人 元施設長
	経営に知見のある人	1 名	0 名	社会福祉法人 理事長
	事業所等職員	5 名	0 名	施設長、副施設長、支援課長、サービス管理責任者、総務企画課課長

2. 議題内容

1	吉田愛青園副園長開会挨拶
2	自己紹介
3	管理者あいさつ
4	サービス内容説明
5	利用者の人権擁護について
6	BCPについて
7	地域の状況について
8	質疑応答

3. 構成員からの質問、要望、感想等

【質疑応答】

Q 物価高騰の影響・人員確保の状況は。

A 米をはじめとする食材料費の高騰を受けて、直接的には食事代の引き上げを行った。光熱費はじわりじわり影響を感じているが、今後の動向を注視せざるを得ない。人員確保については、募集を続けている。職員の定着も課題である。

Q 処遇面で職員からの要望は。

A 事業所としては、処遇改善交付金を給与に配分しているが、職員の中には足りないという意見もある。職員の配置を充実して活動を増やしたいという要望もある。

Q グループホームの外出が難しいのは人員不足からなのか。

A 小グループ活動を実施する人員まで確保できていない。

Q 虐待防止改善計画の市への報告はしているのか。

A 鹿児島市に法人として報告を行ってきた。今後も計画に沿った対応を継続するように市からは指導を受けている。

Q 利用者の状態（高齢化）に適応した対応はどのような計画があるか。

A 具体的に動いていないのが現状である。介護保険に適応した施設の在り方など高齢化に向けた対応策は難しい問題が山積みなため、今後考えていかなければならない。本人の健康状態によっては、病院や介護施設へ移行する現状ある。

Q（利用者への質問）楽しい活動は。

A 「ドライブに行ったりします」と答えられた。

【感想等】

親無き後の利用者の入所先があるといいな、と考えます。

令和 7 年度第 1 回地域連携推進会議 議事録

1. 開催状況

事業所番号	4610101497									
事業所名	障害者支援施設 あおいとり									
開催日時	令和	7	年	10	月	23	日	木曜日	13:00	～ 14:30
開催場所	あおいとり会議室									
構成員 出欠状況	構成員種別	出席		欠席		備考（欠席理由等）				
	利用者	1	名	0	名					
	利用者家族	1	名	0	名					
	地域の関係者	1	名	0	名	民生委員				
	福祉に知見のある人	1	名	0	名	社会福祉法人 元施設長				
	経営に知見のある人	1	名	0	名	社会福祉法人 理事長				
	事業所等職員	5	名	0	名	施設長、事務長、支援課長、サービス管理責任者、総務企画課課長				

2. 議題内容

1	施設の概要紹介
2	あおいとりのサービス、取り組み紹介
3	施設の運営状況について
4	意見交換
5	感想

3. 構成員からの質問、要望、感想等

【質疑応答】

Q 物価高騰で大変かと思うが、経営状態は、どうか。

A 現在、財務状況は安定して推移している。不測の事態が発生しても、直ちに施設の運営に支障をきたすような財務・資産の状況ではない。利用者の環境整備など、放置できないものもあるため、優先順位をつけ、支出を調整している。

Q 職員数は足りているか？

A 恒常的に不足している。そのため、入職された方への研修や面談などを丁寧に行い、その方のペースに合わせた進捗で育成していけるよう配慮をしている。
また、今勤めてくれている職員には、相談や面談に応じたり、休憩の確保や有休を取得しやすくするなど、生活と仕事のバランスがとれるよう心掛けている。職員の確保は、常に課題。

Q 意思決定支援は、具体的にどのように行っていますか？

A 言葉で伝えることができる利用者には聞き取りで行っているが、言葉で伝えることが難しい利用者はおやつや飲み物の選択の時など絵や写真を使ったり、ご家族からの情報や過去の日誌などを参考にしている。

Q どこからが「虐待」か。線引きが難しいのでは？

A 例えば、利用者が危険な行動を取った時に、支援者が身体を使って止める場合があるが、第三者がその場面だけを見ると、羽交い絞めにしている「虐待」であると捉えるかもしれない。職員へ支援基準は、なぜこのように対応しているのか、説明ができるかどうか記録として残すように指導している。

Q 資料の中の年齢別利用者数について。一定の年齢層に固まっているのはなぜか。この年齢層の方に（障害が）多いということか？

A あおいとりが開設した頃に、同じ世代の方が入所された方がほとんどなので同年代が多い。あまり入れ替わりがないので、そのまま年齢を重ねて来られているので、年齢層と障害の数は関係ない。

Q 身体拘束は、身体拘束適正化委員会で協議、判断して行われるのか。また、緊急に対応する必要が発生した際はどのようにするのか。

A 委員会は定期的開催しているが、緊急時には緊急の会議を招集する。また、身体拘束に関しては、保護者への説明を行ったうえで同意を得ている。

【感想等】

地区住民として、施設がどのような状況かを知らなかったのも、大変いい機会になった。防災等、協力できることはお互い考えていきたい

令和 7 年度第 1 回地域連携推進会議 議事録

1. 開催状況

事業所番号	4620102147			
事業所名	共同生活援助 てらやまの風			
開催日時	令和 7 年 10 月 23 日 木曜日	14:50	～	15:30
開催場所	てらやまの風			
構成員 出欠状況	構成員種別	出席	欠席	備考（欠席理由等）
	利用者	1 名	0 名	
	利用者家族	1 名	0 名	
	地域の関係者	1 名	0 名	民生委員
	福祉に知見のある人	1 名	0 名	社会福祉法人 元施設長
	経営に知見のある人	1 名	0 名	社会福祉法人 理事長
	事業所等職員	4 名	0 名	施設長、事務長、支援課長、主任生活支援員、総務企画課課長

2. 議題内容

1	施設の概要紹介
2	てらやまの風のサービス、取り組み紹介
3	施設の運営状況について
4	意見交換
5	感想

3. 構成員からの質問、要望、感想等

【質疑応答】

Q 先ほどのスライドの中で、利用者の皆さんがおそろいの服を着ている集合写真があったが、服の色は自分で選ぶのか？

A はい。写真の服は、毎年「歳末助け合い」からの支援金を頂き、それで購入したもの。服の色はそれぞれの好みで自己決定している。同じ色になることがありますが、それも利用者さんの好みですので、尊重している。＜自己決定支援＞

Q スライドの中で、かき氷を作っている様子もあったが、シロップの好みもそれぞれか？

A それぞれ、好みのシロップを冷蔵庫から取り出して作っている。かき氷器は、手間のかかる手動にしたこともあり、時間をかけてじっくり楽しむことができた。

Q 先程、裏の畑を見せて頂いたが、どのような野菜を作っているか。収穫した物は、自分達で調理して食べているか。

A ブロッコリーや白菜などを育て、収穫することができた。利用者さんも水やりなどを通して成長を楽しみにしている。収穫した物は、自分達で料理して、好みのドレッシングをかけて食べている。自分達で作った野菜は、格別な様子で、食が進み、皆さんよく食べておられる。

Q (利用者さんへ質問)

「お年は、何歳ですか？」「生活は楽しいですか？」「何をするのが楽しいですか？」

A ○歳です。楽しいです。叔母さんと外出すること、外出をしてレストランに行ったり、パチンコをすることが楽しみです。

Q 外出の機会はどのようなものがあるか？

A それぞれ、ご家族と外出や外泊をされたり、スポーツ大会に参加したり、サッカーの試合に招待されたりなどがあった。平日は、あおいとりの生活介護に通っているが、休日は、職員体制が整えば、ドライブに出掛けたり、買い物や道の駅に行くこともある。その際も、個別に希望を聞いて実施している。

Q グループホームの待機者はいますか？

A 入退所に係ることなどは、あおいとり全体で調整している。てらやまの風については、現時点で待機者登録はない。